

# チャペル週報

No.13

2023.7.10～7.14

彼は林の中で力を尽くし

<sup>もみ</sup>樅を切り、<sup>かしわ</sup>柏や<sup>かし</sup>櫨の木を選び

また、<sup>もみ</sup>樅の木を植え、雨が育てるのを待つ。

イザヤ書 44章 14節



ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター

## コロナ禍明けの今だからこそ

小林 伸生

新しい年度が始まって2ヶ月強が経過し、新入生も大分、大学生活に慣れてきたように見えます。そしてキャンパスも、ようやくほぼ通常の姿を取り戻しました。にぎやかに登校し、中芝で楽しそうに仲間と語らう学生たちの姿を見ると、過去に同じ風景を見た時にもまして、大学生活を謳歌しているように見えます。

キャンパス平常化の恩恵は、私たちの教育の現場も受けています。私が担当するゼミでは、活動の一環として、経済的なトピックについての政策論争を行うディベートを取り入れています。その準備過程において、私に対戦相手側を受け持ち、学生と真剣勝負の議論をする、通称「ぶつかり稽古」を行っています。狙いとしては、学生たちに改善点を直接指摘するのではなく、仮想相手として立ちほだかることにより、自分たちの足らざる点を認識し、準備を加速させることにあります。

幸い効果はかなりあり、「ぶつかり稽古」の前後には、学生たちはコモンズに夜まで集まって議論を繰り返し、準備の水準を高めています。議論を戦わせる際の学生の様子は、普段にも増して目を輝かせ、真剣そのものです。仮想相手として、一人で複数テーマの資料を準備し、理論武装をするのは非常に骨の折れる準備作業ですが、学生たちの一生懸命な姿は、そうした苦勞を補って余りあるやりがいを与えてくれます。

同様の準備をリモート環境下でも試みましたが、やはりその密度や熱量は、対面で得られるものとは異なりました。顔を突き合わせ、膝を交えて密なコミュニケーションをとりながら進められるからこそ、より高い水準の準備とアウトプットが可能なのだと感じます。そしてその貴重さ、有難さは、今だからこそ一層実感できるのだと思います。

コロナ禍明けの昨今、対面で議論をし、フィールドに出て実際の社会・経済活動の現場を見聞きすることが可能になりました。私は折に触れ、学生たちに昔の言葉を改変引用しつつ「書を持とう、町へも出よう」と伝えています。それは教職員である私たちにも、当てはまることなのではないでしょうか。以前は当たり前になっていた、活動の制約のないことの有難さを改めて認識しながら、教育・研究に勤しんでいければと思っております。

(経済学部長)

# チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

7/10 月

神 説教学演習 A 草地 賢太 (神学部 4 年)  
経 平和への祈り① 李 相勲 (宣教師、経済学部准教授)  
人 李 善恵 (宣教師、人間福祉学部教授)  
建 村瀬 義史 (宗教主事)

11 火

神 森本 典子 (神学部専任講師)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 イエスのたとえ話から④ Christian Triebel (宣教師、学長直属助教)  
法 安部 祥太 (法学部准教授)  
経 平和への祈り② 舟木 譲 (宗教主事)  
商 岩野 祐介 (神学部教授)  
国 平林 孝裕 (宗教主事)  
理・工・生環 ALL 賛美歌プログラム①  
総 村瀬 義史 (宗教主事)  
教 学期末を迎えて 辰己 隆 (副学部長)

12 水

神 藤井 航 (神学部卒業生)  
社 イエスのたとえ話から⑤ 中道 基夫 (院長)  
法 井上 武史 (法学部教授)  
商 地道 正行 (商学部教授)  
人 Christian Triebel (宣教師、学長直属助教)  
国 平林 孝裕 (宗教主事)  
理・工・生環 前川 裕 (宗教主事)  
教 山口 真史 (一般社団法人 new-look 代表理事、TOB 塾代表)

13 木

神 「私にとっての 1 枚」⑪ 中道 基夫 (院長)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 音楽チャペル JohnDoe (関西学院グリークラブ アカペラカルテット)  
法 笹川 敏彦 (法学部教授)  
経 オルガンコンサート②～平和への祈り～ 西山 聡子 (関西学院オルガン講師)  
商 木原 桂二 (宗教主事)  
人 松隈 協 (高等部宗教主事)  
国 Chapel in English 李 相勲 (宣教師、経済学部准教授)  
総 戸部 智 (総合政策学部専任講師)  
聖和 聖和 JAZZ 礼拝 竹中 真 (ジャズピアニスト)

14 金

ランバスチャペルアワー

「ことばの力」 打樋 啓史 (宗教総主事)  
於：ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原) ※大学院チャペルはこちらへ合流します  
神 姜 安娜 (国際連携機構事務部職員)  
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 オルガンコンサート③～平和への祈り～ 能島 亜未 (関西学院オルガン講師)  
理・工・生環 住 政二郎 (生命環境学部教授)

---

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

7月14日(金) 分かち合いと祈り 井上 智(宗教センター宗教主事)

毎週金曜日、各テーマに沿ったお話を聞き、参加者で祈りを捧げています。学生・教職員の方々に開かれた祈祷会です。ランバス礼拝堂とZoom併用で実施しておりますので、ぜひご参加ください。Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へ  
①メールアドレス ②お名前 ③所属 ④関学との関係(学生等)をメールでお知らせください。

---

\*\*\*\*\*

●院長室から発信! ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信をしています。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。



(月2回程度更新されます)

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou>「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパス(1405教室)では、大学院授業期間中の月1回、原則第2木曜日にチャペルアワーを開催します。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

7月13日(木) 17:50~18:10 打樋 啓史(宗教総主事)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門を入れて右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。4月から関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

7月14日(金) 関西学院交響楽団

時間: 12時45分~13時15分

場所: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主催: 宗教センター・宗教音楽委員会

●2023年度 第1回 教育研究部サロン「関西学院・原田の森時代の社会貢献と文化発信」

今回のサロンでは荻野昌弘教授から、神戸原田の森キャンパス時代の関西学院の学生が神戸でキリスト教伝道を通じて社会福祉活動を実践していた賀川豊彦と協力して、神戸の社会問題にどのような関わりを持っていたかを語っていただきます。参加者との懇談も交えて進めてまいりますので是非ご参加ください。

お話し: 荻野昌弘(社会学部教授)

司会: 細見和志(総合政策学部教授)

日時: 7月14日(金) 17:10~18:40

会場: 本部棟会議室6(西宮上ヶ原キャンパス)

主催: 関西学院宗教活動委員会

※対象は関西学院教職員・学生です。

※対面で実施しますがZoom参加も可能です。参加ご希望の方は右のQRコードからお申込みください。



●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

9月24日(日) 10:00~11:00

● CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

● 使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会（JOCs）切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

郵送でのご送付先：〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

● 盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

● 「チャペル週報」のバックナンバー（2005年以降）は下記で閲覧できます。

URL：<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

**関西学院宗教センター**

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

